

9 JR 鎌取地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	重要地域拠点	
面積（促進地区）	76.0ha	
旅客施設（3000 人/日 以上）乗降客数	JR 鎌取駅	41, 514 人（平成 30 年度）
バス便数	鎌取駅南口	252（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
	鎌取駅北口	202（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
生活関連施設数	11 施設	
生活関連経路延長	約 3, 500m	
500m 圏人口	5, 682 人	※JR 鎌取駅を中心に 500m 圏の範囲で算出 （2015 年国勢調査 4 次（500m）メッシュ）
500m 圏高齢者数	822 人	
500m 圏高齢化率	14%	
従前の基本構想から の主な変更点	有吉貝塚公園を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

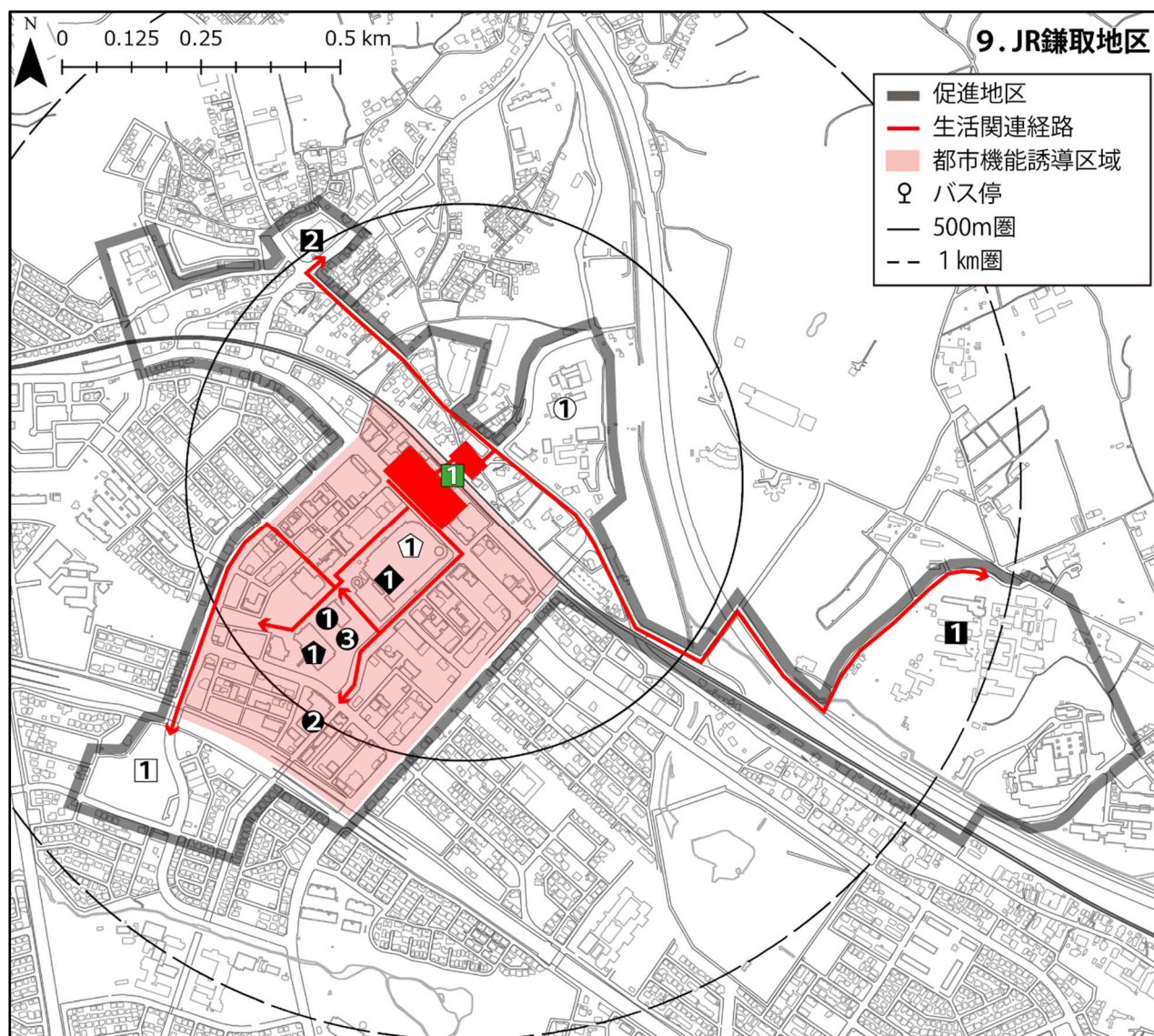
JR 鎌取地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が低い地区です。駅南口は歩行者専用道となっており、公共施設、集会施設、福祉施設、大規模店舗が集積しています。1km圏域内に広域からの利用が想定される下総精神医療センターが立地しています。駅周辺の主な土地利用は商業・業務系、中高層住宅が多く、駅南側に都市機能誘導区域が設定されています。

JR 鎌取駅の乗降客数は平均的です。バス便数は比較的多く、千葉・蘇我駅方面や菅田駅方面などへアクセスしています。

南口側の駅や道路、施設は基本的に歩道が広く、視覚障害者誘導用ブロックが整備されているなどバリアフリー化されていますが、デッキ構造となっていることからバリアフリールート案内の充実などが必要です。北口側では大網街道の歩道が狭く、また下総精神医療センター方面への経路は路側帯もない道路となっており、歩行環境の改善が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 鎌取駅
公共施設	1	緑区役所 ※1
	2	千葉緑郵便局
	3	緑市税出張所 ※1
集会施設	1	鎌取コミュニティセンター
福祉施設	1	千葉市あんしんケアセンター鎌取 ※2
保健施設 ・病院	1	国立病院機構下総精神医療センター
	2	緑保健福祉センター
文化・教養 ・教育施設	1	県立千葉聾学校
大規模店舗	1	イオンスタイル鎌取 ※2
都市公園	1	有吉貝塚公園

※は同一建物内



JR 鎌取駅



JR 鎌取駅前ペデストリアンデッキ